

補足：Linux からの印刷方法

2002 年 5 月 7 日

本日の講義中に板書した URL をお知らせします。

- 講義資料：<http://www.ohsuga.info.waseda.ac.jp/literacy20020508.pdf>
- プリンタの使い方：<http://www.mse.waseda.ac.jp/LOCAL/mse-help/print.pdf>

講義資料については、一部訂正があります。「プリンタの確認」という箇所で、

```
% lpq -P プリンタ名
```

と書いてありますが、第 4,5 端末室では

```
% lpq
```

だけで構いません。

あと、講義中にも説明した、印刷コマンドの例について、以下の表 1 にいくつかあげておきます。

表 1: 印刷のヒント

テキストファイルを印刷	% a2ps test.txt
PS ファイルに出力	% a2ps -o test.ps test.txt
ヘッダを印刷しない	% a2ps -B test.txt
ヘッダの指定	% a2ps --header="header" test.txt
ページを 4 分割	% a2ps -4 test.txt
枠を印刷しない	% a2ps --borders no test.txt
行番号を印刷 (1 行ごと)	% a2ps --line-numbers=1 test.txt
PS ファイルを画面に表示	% ghostview test.ps
PS ファイルを印刷	% lpr test.ps
PS ファイルを 4 分割して印刷	% psnup -4 test.ps lpr
DVI ファイルを画面に表示	% xdvi test.dvi
DVI ファイルを印刷	% dvips test.dvi lpr
DVI ファイルを 4 分割して印刷	% dvips test.dvi psnup -4 lpr

各コマンドの詳しい使い方は、man コマンドで調べてください。DVI ファイルというのは、第 10 回「TeX」の講義で出てきますのでそれまでは気にする必要はありません。

各自のノート PC(Linux) で作成したファイルを、第 4,5 端末室で印刷する場合には、以下の 2 通りの方法があります。

- 1) ファイルをフロッピーディスクに入れて、第 4,5 端末室で読み出して印刷
- 2) ネットワーク経由でファイルを転送しておき、第 4,5 端末室に移動して印刷

1) ファイルをフロッピーディスクに入れて、第 4,5 端末室で読み出して印刷する場合

mcopy コマンドを使います。

- フロッピーディスクにファイル test.txt を書き出す

```
% mcopy test.txt a:\
```

- 第 4,5 端末室でフロッピーディスクからファイル test.txt を読み出す

```
% mcopy a:\test.txt .
```

mcopy のほかにも便利なコマンドが mtools コマンド群として利用できます。
詳しくは、

<http://www.mse.waseda.ac.jp/LOCAL/mse-help/mtools/use-mo.html>
を参照してください。

- テキストファイル test.txt を印刷する

```
% a2ps test.txt
```

2) ネットワーク経由でファイルを転送しておき、第 4,5 端末室に移動して印刷する場合

scp コマンドを使って、ファイルの転送を行います。

- 自分のノート PC から第 4,5 端末室へファイルを転送

```
% scp ファイル名 ログイン名@muse01.mse.waseda.ac.jp:コピー先ディレクトリ
```

例) test.txt というファイルを muse01 というマシンのユーザ名 ohira のホームディレクトリにコピー

```
% scp test.txt ohira@muse01.mse.waseda.ac.jp:~/.
```

実行すると、mse システムのユーザ ohira のパスワードを聞かれますので、正しく入力するとファイル test.txt が転送されます。ohira の部分は、各自のユーザ ID を、muse01 の部分は、第 4,5 端末室の場合、muse01 ~ muse05 が使用できます。

- 端末室に移動して、a2ps や lpr コマンドで印刷

不明な点があったら、担当の TA/SA の人に聞いてみてください。